

南アジア4カ国 マーケットレポート

【株価指数の推移】※…現地通貨ベース

		終値	6月17日比
インド	S&P・BSE500種指数	11,106.31	2.78%
スリランカ	スリランカ コロンボ 全株指数	6,287.09	-2.77%
パキスタン	カラチ 全株指数	25,313.12	-1.24%
バングラデシュ	ダッカ総合株価指数	4,507.58	2.56%

(出所：ブルームバーグ)

【為替(対円)の推移】

		終値	6月17日比
インド	インドルピー	1.5230	-1.93%
スリランカ	スリランカルピー	0.7023	-2.13%
パキスタン	パキスタンルピー	0.9790	-1.61%
バングラデシュ	バングラデシュタカ	1.3089	-1.53%

(出所：ブルームバーグ)

【各国の市況・トピックス】

【インド：不透明感が漂う中、株式市場は堅調】

インド株式市場は上昇しました。英国のEU離脱を巡る国民投票が現地時間6月23日に行なわれ、EUからの離脱が選択されました。この投票結果を受け、翌24日の世界の株式市場は大幅な下落となりましたが、インド株式市場の下げ幅は▲1.91%と限定的でした。インド経済は内需主導型であり、EU向け輸出割合も低いいため、投票結果の影響は相対的に軽微と市場参加者が判断したもようです。

世界経済の先行きに対する不透明感が増す中、新興国で唯一の安定性と成長力を誇る同国は、投資先として存在感が一層高まると考えられます。

【スリランカ：株式市場へのキャピタルゲイン税が重し】

スリランカ株式市場は下落基調となりました。20日に格付会社ムーディーズが同国の見通しを「安定的」から「ネガティブ」に引き下げたことや、27日に政府高官が株式市場にもキャピタルゲイン税を導入すると発言したことが嫌気されました。

なお、スリランカ中央銀行は24日に金融政策決定会合を開き、政策金利の現状維持を決定しました。増税の影響で5月のインフレ率は前年比+4.8%と前月から加速しましたが、中銀は、想定範囲内であり、今後も1桁台半ばにとどまると予想しています。

【パキスタン：中央銀行は安定した成長を予想】

パキスタン国立銀行(中央銀行)は、7月1日に2016年度第3四半期までの経済見通し(2016年7月～2017年3月)を発表しました。世界の景気見通しが鈍化するなか、成長率は前年同期比+4.7%と着実な拡大を示し、インフレ率は同+2.6%と低位に収まると予想しています。一層の経済拡大には、輸出産業の競争力向上や海外からの投資誘致が重要な要素になると推測されます。

【バングラデシュ：テロの惨劇】

7月1日、日本人を含む多数の外国人が武装グループに襲撃されました。バングラデシュでは6月にイスラム過激派の一斉摘発を行うなど治安強化に努めていましたが、その中での惨劇となりました。イスラム国の支部を名乗る組織が犯行声明を出していますが、国内過激派組織の犯行という見方もあり、その真偽のほどは明らかになっておりません。

当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みに当たっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

南アジア4カ国 マーケットレポート

【株価指数の値動き】〔期間：2015年10月1日～2016年7月1日、現地通貨ベース〕

(出所：ブルームバーグ)



—インド—



—スリランカ—



—パキスタン—

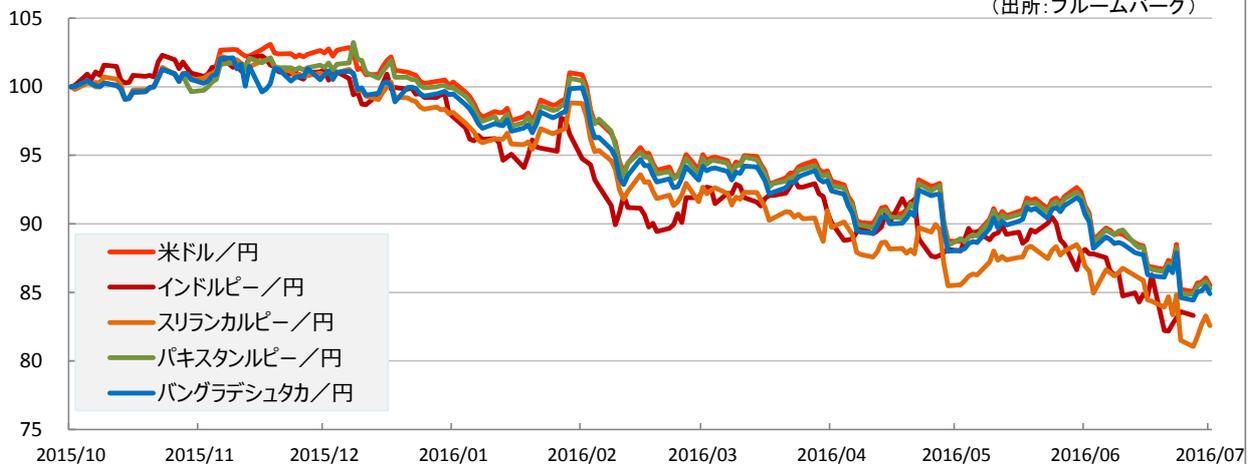


—バングラデシュ—

【為替の値動き】

〔期間：2015年10月1日(基準日)～2016年7月1日、基準日を100として指数化〕

(出所：ブルームバーグ)



当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みに当たっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

南アジア4カ国 マーケットレポート

投資信託の主なリスク

投資信託は、主に国内外の株式や債券、その他の有価証券等を投資対象としますので、組入有価証券等の価格の下落や、組入有価証券等の発行会社の倒産や財務状況の悪化、為替の変動等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。運用の結果としてファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。

投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、投資市場、投資対象国などが異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては目論見書や契約締結前交付書面等をよくご覧ください。

お客様にご負担いただく主な費用

ご投資いただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。

- 申込時に直接ご負担いただく費用……申込手数料 上限3.78% (税抜き3.50%)
- 換金時に直接ご負担いただく費用……信託財産留保額 上限0.5%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用……信託報酬 上限2.376% (税抜き2.20%)
 - ※一部のファンドについては、運用成果等に応じて実績報酬をご負担頂く場合があります。
 - ※ファンド・オブ・ファンズの場合は、ファンドの投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
- その他費用……上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。
当該費用は運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

上記に記載しているリスクや費用項目は一般的な投資信託を想定しています。

費用の料率につきましては当社が運用するすべての投資信託のうち最高の料率を記載しています。手数料の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。投資信託に係るリスクや費用は、各投資信託により異なりますので、ご投資に当たっては、目論見書や契約締結前交付書面をよくご覧ください。



アストマックス投信投資顧問株式会社

〒141-0022 東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア5階

商号等： アストマックス投信投資顧問株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第387号

商品投資顧問業者 農経(1)第21号

加入協会： 一般社団法人投資信託協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会 / 日本商品投資顧問業協会

当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みに当たっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。